

【令和4年度点検】別添3\_内部質保証に関する自己点検・評価シート(理工学部・大学院工学研究科共通項目)

学生支援（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>1-1 学生生活支援体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備しているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談・助言体制等一覧</li> <li>● 生活支援制度の利用実績が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-1_相談・助言体制等一覧(令和3年度)</u></li> </ul> </li> <li>● 保健(管理)センター、学生相談室、就職支援室等を設置している場合は、その概要や相談・助言体制(相談員、カウンセラーの配置等)が確認できる資料</li> <li>● 生活支援制度の学生への周知方法(刊行物、プリント、掲示等)が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-1-01_学生総合相談室の周知</u></li> <li>・ <u>4-2-1-02_健康相談・カウンセリング等の周知</u></li> <li>・ <u>4-2-1-03_カウンセラー配置状況及び利用案内</u></li> <li>・ <u>4-2-1-04_就職相談の周知</u></li> <li>・ <u>4-2-1-05_就職担当教員一覧(令和3年度)</u></li> <li>・ <u>4-2-1-06_[保健管理センター]利用状況(令和3年度)</u></li> <li>・ <u>4-2-1-07_全学的支援体制図</u></li> <li>・ <u>4-2-1-08_チューター制の周知</u></li> <li>・ <u>4-2-1-09_チューター制実施要領</u></li> <li>・ <u>4-2-1-10_学生総合相談室規則</u></li> <li>・ <u>4-2-1-11_保健管理センター規則</u></li> <li>・ <u>4-2-1-12_キャリア・サポート・センター規則</u></li> </ul> </li> <li>● 各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料(取扱要項等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-1-13_ハラスメント相談体制の周知</u></li> <li>・ <u>4-2-1-14_ハラスメントの防止等に関する規則</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>1-2 学生生活支援体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課外活動に係る支援状況一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-2_課外活動に係る支援状況一覧(令和3年度)</u></li> <li>・ <u>4-2-2-01_サークル数一覧(令和3年度)</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p>	

・ 該当なし
②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u>
・ 該当なし
<b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■） ■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない
<b>優れた成果が確認できる取組</b> ・ 該当なし
<b>改善を要する事項</b> ・ 該当なし

学生支援（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>2 留学生生活支援体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学生に対する生活支援の状況が確認できる資料（実施体制、実施方法、実施状況等） <ul style="list-style-type: none"> <li>4-2-3-02 2021 年度国際交流センター活動報告書</li> <li>4-2-3-03 留学生チューターマニュアル（2021）</li> <li>4-2-3-04 「Resident Assistant」実施要項 2021</li> <li>4-2-3-05 外国人留学生チューター・「Resident Assistant」勤務実績（令和 3 年度）</li> <li>4-2-3-06 国際交流関係 大学独自の奨学金制度（令和 3 年度実績）</li> <li>4-2-3-07 留学生宿舎入居状況（令和 3 年度）</li> </ul> </li> <li>留学生に対する外国語による情報提供（健康相談、生活相談等）を行っている場合は、その資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>4-2-3-08 For Safety and Well-being 2021</li> <li>4-2-3-09 Resident Assistant 業務報告書例 2021</li> <li>4-2-3-10 新型コロナウイルス感染症への本学の対応（University Response to COVID-19）</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし</li> </ul>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし</li> </ul>	

学生支援（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>3 障害学生生活支援体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害のある学生等に対する生活支援の状況が確認できる資料（実施体制、実施方法等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-1-16 修学支援申請一覧（令和3年度）</u></li> <li>・ <u>4-2-4-01 障がい者支援に係る全学的支援体制図</u></li> <li>・ <u>4-2-4-02 国立大学法人室蘭工業大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応要領</u></li> <li>・ <u>4-2-4-03 障がいのある方への対応マニュアル</u></li> <li>・ <u>4-2-4-04 原議書（非公表）</u></li> <li>・ <u>4-2-4-05 配布通知（非公表）</u></li> <li>・ <u>4-2-4-06 障がいのある学生への対応マニュアル</u></li> <li>・ <u>4-2-4-07 別添）障がい者支援に係る全学的支援体制図</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	

学生支援（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>4 経済支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生に対する経済面での援助を行っているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済的支援の整備状況、利用実績一覧</li> <li>● 奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知が確認できる資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-5 経済的支援の整備状況、利用実績一覧（令和3年度）</u></li> </ul> </li> <li>● 日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-5-01 日本学生支援機構奨学生一覧（令和3年度）</u></li> </ul> </li> <li>● 大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-5-02 大学独自の奨学金制度（令和3年度実績）</u></li> </ul> </li> <li>● 入学料、授業料免除等を実施している場合は、その基準や実施状況が確認できる資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-5-03 大学院博士後期課程社会人学生に係る入学料免除実施要項</u></li> <li>・ <u>4-2-5-04 大学院博士後期課程社会人学生授業料免除要項</u></li> </ul> </li> <li>● 学生寄宿舎を設置している場合は、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-2-5-05 授業料等の額並びに徴収方法等規則</u></li> </ul> </li> <li>● 上記のほか、経済面の援助の利用実績が確認できる資料</li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書き</u>で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	

**優れた成果が確認できる取組**

- ・ 該当なし

**改善を要する事項**

- ・ 該当なし

学生受入（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>1 学生受入方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示しているか。</li> </ul> <p>※ 3年に一度の点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生受入方針が確認できる資料                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-1-1-01 入学者受入方針(学部、選抜方法を含む)</u></li> <li>・ <u>5-1-1-02 入学者受入方針(学部、編入学)</u></li> <li>・ <u>5-1-1-03 入学者受入方針(大学院)</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	



学生受入（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>2-1 入学者選抜</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。</li> </ul> <p>※ 3年に一度の点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学者選抜の方法一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-2-1_入学者選抜の方法一覧</u></li> </ul> </li> <li>● 面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-2-1-01_創造工学科推薦入試面接マニュアル（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-02_システム理化学科推薦入試面接マニュアル（非公表）</u></li> </ul> </li> <li>● 入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-2-1-03_入学試験委員会規則（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-04_大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議規則（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-05_入学試験組織規則（非公表）</u></li> </ul> </li> <li>● 入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-2-1-06_特別入試実施要項抜粋（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-07_個別学力検査試験実施要領（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-09_MC_実施要項_推薦・高専（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-10_MC_実施要項_一般・社会人・留学生（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-11_DC_実施要項_一般・社会人・留学生（非公表）</u></li> <li>・ <u>5-2-1-12_DC_実施要項_留学生（国外）（非公表）</u></li> </ul> </li> <li>● 学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学志願者の準備に大きな影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>2-2 入学者選抜</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。</li> </ul> <p>※ 3年に一度の点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-2-2-01_アドミッションオフィス規則</u></li> </ul> </li> <li>● 学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-2-2-02_令和3年度第4回学部入試改革WG資料1-2及び資料1-4</u></li> <li>・ <u>5-2-2-02-1_令和3年度第8回入学試験委員会資料2</u></li> <li>・ <u>5-2-2-03_令和3年度第14回入学試験委員会資料4</u></li> <li>・ <u>5-2-2-04_令和3年度第8回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議資料3-2</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>	

**2-2 入学者選抜**

- ・ 国際コミュニケーション能力を向上させることを目的として、在学生においてTOEICの得点を卒業要件にするなどTOEICの得点をより重要化したことなどを踏まえ、編入学一般入試における学力試験科目においても、受験者のTOEIC得点を選抜に反映することとした。このことに伴い、TOEICスコアの換算方法、及び学力試験科目全体の配点を見直す等の検討を重ね、令和5年度入試から実施することを決定した。
- ・ 令和5年4月の大学院改革に対応するため、大学院入学者選抜に係るアドミッションポリシーの変更について各専攻で検討を重ね、令和4年3月に改正した。

②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。

- ・ 該当なし

**【基準に係る判断】** 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）

- 当該基準を満たす
- 当該基準を満たさない

**優れた成果が確認できる取組**

- ・ 該当なし

**改善を要する事項**

- ・ 該当なし

学生受入（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>2-3 入学者選抜</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認証評価共通基礎データ様式                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-3-1-00 入学定員充足率確認資料(令和3年度)</u></li> </ul> </li> <li>● 実入学者数が「入学定員を大幅に超える」、又は「大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5-3-1-01 入学意向調査(令和3年度)</u></li> <li>・ <u>5-3-1-02 DC指導教員一覧(令和3年5月1日時点)</u></li> <li>・ <u>5-3-1-03 博士後期課程入学定員充足率確認資料(令和元年度～令和5年度)</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、大学院工学研究科博士後期課程工学専攻における入学定員が130%を超えている状況であるが、留学生が占める割合が多く、また、文部科学省が実施している「国費外国人留学生の優先配置を行う特別教育プログラム」に採択され実施した入試等により入学した留学生の割合も多いため、同専攻の内訳について常に現状の把握に努めているところである。</li> </ul> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	

施設整備（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>1 施設・設備の安全性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・設備における安全性について、配慮しているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・設備の整備（耐震化、バリアフリー化等）状況（面積、収容者数）、利用状況等が確認できる資料                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-1-3-01 建物の老朽度、耐震性能及び改修年次計画</li> <li>・ 4-1-3-02 構内バリアフリーMAP2021</li> <li>・ 4-1-3-03 施設整備計画（マスタープラン）2021</li> </ul> </li> <li>● 安全・防犯面への配慮がなされていることが確認できる資料                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-1-3-04 構内セキュリティーMAP（非公表）</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす  <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	

施設整備（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>2 ICT 環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-1-4-01_学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）回答（令和 3 年度）（非公表）</li> <li>・ 4-1-4-02_学生ポートフォリオについて</li> <li>・ 4-1-4-03_Moodle の利用について</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生が利用可能なICT環境として、学生ポートフォリオを整備している。学生ポートフォリオでは、学生自身が履修状況、成績情報、授業出欠状況が確認できるほか、コース分属以降はコース学習目標別GPA分布が表示され、学習達成状況の確認が可能となっている。また、授業においては Moodle が利用されており、学生への連絡、資料の配布、課題の出題や回答など、有効活用されている。</li> </ul> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす  <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	

施設整備（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>3 図書館整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学術情報基盤実態調査(大学図書館編)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4-1-5-01_学術情報基盤実態調査(大学図書館編)回答(令和3年度)(非公表)</u></li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす  <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない                 </p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当なし</li> </ul>	

施設整備（点検実施年度：R4 年度（R3 年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p><b>4 自主的学修環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されているか。</li> </ul> <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主的学習環境整備状況一覧                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-1-6 自主的学習環境整備状況一覧（令和 3 年度）</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <p>該当なし</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <p>・ 該当なし</p>	
<p><b>【基準に係る判断】</b> 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす  <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p><b>優れた成果が確認できる取組</b></p> <p>・ 該当なし</p>	
<p><b>改善を要する事項</b></p> <p>・ 該当なし</p>	